

技を発揮させてくれる お施主さんに、感謝。

有限会社 住まいの伏見
代表取締役

大久保 勇

Oさんは、家づくりに対してとても意識が高く、求められるレベルも高かった。このような家を希望してくださるお客さまがいるというのは、ものすごくありがたいことです。需要があれば、技の継承ができませんから。私の役割は、Oさんと職人の間に立ってお互いの意見を調整すること。これだけの技を極めてきたうちの大工ですから、やっぱり自分のやり方・考え方がある。両者の思いをくんだ上で、Oさんの求めるイメージをベストな形でかなえられるようにするのが、苦労したところですね。

先人から脈々と受け継がれてきた建築の知恵と技術を途絶えさせたくない、私たちがその一心で伝統工法に取り組んでいます。そりゃ、かかる手間も時間も普通の家とは比べ物にならないから、効率を考えたらできることじゃない。でも、職人はこういう仕事をやりたいんです。技を使うことがうれしいんですよ。だからOさん邸は、うちのもっているよさが最大限に活きる家となったのではないのでしょうか。



住まいの伏見 4つの約束

promise 01 手きざみ

柱や梁の接合部は、すべて職人が木の状態に合わせて手作業できざむ(加工をする)。

promise 02 天然木を活かす

木の素性(年輪)を見て、この先反っていくだろう方向を予測し、個性を活かして使う。

promise 03 自然素材

土に還る無害な自然素材を使うことで、次代まで豊かな環境を守っていく。

promise 04 地域密着

地元で生まれ育った会社として、将来にわたり地域のお客さまとおつきあいです。

有限会社 住まいの伏見

〒701-0304 岡山県倉敷郡早島町早島1054-1
TEL.086-482-2548
FAX.086-486-0887
http://www.sumaino-fushimi.com

【従業員数】30人

【取扱工法・構造】木造在来軸組工法

【アフター保証】(財)住宅保証機構、ハウスプラス住宅保証(株)、自社保証

【リフォーム】対応可能



求めていた「本物の家」に
やっと出会えました。

いつの日か自分好みの和の家を建てたい、という気持ちを長くもってきただけで、住まいへの理想はふくらんでいきましたね。豪華な家を望むわけではなく、ただ大事なところをきちんとつくってくださる会社を探したのですが、なかなか納得するものには出会えなくて。今の住宅といえばこういうものなんだろうかと妥協しようになっていたとき、「住まいの伏見」さんを知りました。

伝統的な木造建築の技術は、すごい一言。カーテールを取り付けに来た業者さんが「1mmの誤差もない窓枠は初めてだ」といつて感心してました。さらによかったのは、デザインも設計事務所などにまったく劣ることなくすばらしいということ、さりげなく凝った雰囲気、大久保社長が絶妙に提案してくるんです。こちらが具体的に言わなくても、ちゃんと好みが伝わっているところが本当につれしかったですね。これまでの仕事ができる方々のいることが、もっと知られてほしいなと思います。



木と土のおいがする、なぜか懐かしくて落ち着く家。小舞(竹を編んだ下地)に土を塗りつけた、昔ながらの土壁が好きです



何10件と他の見学会を見てきて目の肥えた私でも、伏見さんの漆喰塗りの美しさには、言葉が出ませんでした。



社長とは父の代からお世話になっていて、人情味のあるあたたかい人柄に、当時から惹かれていました。



自然の木を人の手で加工し、組み上げた柱や梁が寸分の狂いもなく垂直・水平になっている。それだけで感動です。